



学校通信

令和8年 1月30日
東京都立葛飾盲学校長
竹内 大吾
(第10号)

「梅の花と学びに向かう力」

校長 竹内 大吾

一年で一番寒さが厳しくなる大寒（だいかん）を迎える、冬の冷たい空気が身に染まる日々が続きますが、いよいよ来週には立春（りっしゅん）を控え、少しづつ春の気配が近づく季節となりました。

1月下旬から2月上旬にかけては、都立特別支援学校の多くが、入学相談の時期となっております。本校においても、新たに本校に来る予定の子供たちの入学相談を行ったり、本校を卒業する生徒が、次の進路先に向けての準備を整えたりしているところです。

また、在校生たちも、一年間のまとめに向かって、日々の教育活動の中で、成長した姿を見せております。先日は、ある児童が、図画工作の時間に作成した梅の花の立体造形を、見せにきてくれました。花の付き方やおしべの形が、本物そっくりで、2月の梅の季節の訪れを感じさせてくれました。

さて、梅は、その花言葉の1つに「忍耐」があるように、2月の寒風吹きすさぶ中で、凛と咲き誇る花です。

現行の学習指導要領において、子供たちに身に付けさせる資質・能力の3つの柱の1つとして、「学びに向かう力、人間性等」があります。これは、知識や思考力を使って「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」という情意・態度に関わる柱です。この「学びに向かう力」において、「忍耐」は単に我慢することではなく、目標達成のために、困難や失敗があっても粘り強く取り組むという課題解決する力であったり、学習目標を達成するために、自分自身の感情や行動をコントロールして、持続的に努力する力、自身の成長や失敗を乗り越えて、よりよい方法を探求し続ける態度であったりします。

子供たちは、日々の生活の中で、必ずしも自分の思い通りにならないことに直面する場合があります。しかし、「冬来たりなば春遠からじ」という言葉があるように、そのような機会に、私たち大人が支援しながら、自分で乗り越える力を少しづつ身に付けさせていくことが、子供たちの明るい未来へつながっていくのだと思います。

「3学期生活スタート！」

冬休みが終わり寄宿舎に舍生の賑やかな声が戻ってきました。寒い日が続いておりますが、新たに廊下とトイレに設置されたエアコンのおかげで、舍生は快適な生活を送ることができます。

お正月遊びとして、職員お手製の『福笑い』を楽しむ舍生の姿が見られます。「達磨、ポケモン、アンパンマン」は大人気！

また、1月22日(木)は地域のお店に買い物外出へ行き、それぞれ好きなお菓子を購入し、美味しくいただきました。

1月後半からは節分会に向け「追い出したい鬼・招きたい福」を、舍生それぞれが考えています。

(文責：服部 崇史)

